

日本は木を使うべき？守るべき？

木の歴史

日本人は300年以上前の縄文時代にすでに気を使って生活をしたといわれています。そのうち、大きなお寺など建築用に使ったり、田圃を作るために森林を切り開いたりする様になり、森林乱伐が進みました。676年には当時の天皇が進んでいた土地の木を切ることを禁止する勅令を出したのが森林伐採禁止令の最古の記録として残っています。農業や建築用に使っただけでなく、工業の燃料用に木を伐採し海水を煮詰めて塩をとったり、刀などを作るために多くの場所で伐採が進みました。およそ800ヘクタール「ディズニーランド5個分」の面積の木を燃料として伐採したと言われています。

世界最古の木造建築は607年に建てられた法隆寺です。今でも沢山の建築に木を使っていることが分かりました。607年に建てられた法隆寺も今でもあるから木は長持ちすることがわかります。また、木は鉄より火に強いことがわかりました。火災になってもすぐに溶けるのではなくて段々溶けていきます。また、CO2などを吸ってくれて環境に良いという面もあります。使にくい木や形が良くない木は使い物にならないから捨てるのではなく、長持ちするという木の特徴を活かして芸術品の様にしたたり曲がっている木の方が作りやすいものなどに使うことができるのでとっておいておいていいです。

木の魅力

問題



安い木材を求めると違法伐採が進み、自然破壊や地球温暖化の進行、不正な貿易、ゲリラやテロ組織への資金供給のような問題のお手伝いをしていることになりまます。けれども、最近では法律が厳しくなりジャスマークなどが貼ってある木しか輸入しないことにしているそうです。昔は中国が違法伐採した木を沢山輸出したことで大問題になったそうですが、今はその確率は低いとされています。でも、いつ中国が違法伐採の木を輸出してくるかわからないので油断はできないそうです。また、林業で働く人の減少も大きな問題です。木を切る人がなくなったら木を栄養たっぷりにするのが出来なくなってしまう。なぜなら、森の手入れをする人がなくなってしまうからです。そしたら日本の木は弱くて細い木になってしまう、古くからの伝統ある木造建築ができなくなってしまうから、外国からの輸入にたよりにすることになると思います。せっかくお森林持ちなのに外国からの輸入に100%たよったらとてもはずかしいです。だからこれからは林業で働く人を増やして手入れの行きとどいた丈夫な木を作れば良いと思います。

未来

これから日本は沢山木を植えて植林を盛んにしたらいいと思います。でも、今は沢山ありすぎて手入れが出来ないくらいになっているから地元の人たちが協力して一回切ったら森林のすごさをわかってくれる人も出てきてもっと増えると思います。私は木を整備する以外に切らないという命令の様なものを出した方がいいと思いましたが、それでも外国では違法伐採が進んでいるから誰も立ち入らない様にして木を切る人も住み着いている動物を逃したり、巣を切らないであげたりすることをやったらいいと思います。

森林と私達の暮らし

〈森林の歴史と現状〉

2000年以上前から使っていて寺や、神社の木材に使っている。鉄、塩を作るようになった。使える木をほとんど使ってしまった。また、戦争でほとんど使い果たしてしまった。でも、杉や桧などの植林を日本中で行い今では、たくさんの木がある。

〈木の魅力〉

木は、温かみがあり、柔らかい。また、火に強い。

〈木の魅力〉

木は長く使うほど、味が出て、色に深みが出る。また、木は、火に強い。

〈日本の林業が抱える問題〉

林業をする人が減ってきていて、森林を手入れする人がいないからだんだん山が荒れてくる。また、違法伐採・森林破壊により、日本の木材が売れなくなってきた。また、林業をする人が減ってきて、日光が当たらなくなり育たなくなる。

〈日本の森林の未来〉

木は、私達の生活を支えてくれているから、これから生活のものに木を少しでも加えることで今よりも過ごしやすい未来になるのではないかなと私は思います。

木はすごい！



日本ってすごい！

日本は、お森持ちですが実ははげ山時代もありました。昔は、人々は鉄や塩などを作るために木を伐採し、燃やして燃料として使っていました。この時、800ヘクタールの面積の木を伐採していたと言われています。この時、日本は木が足りなくなりハゲ山になってしまいました。

しかし第二次世界大戦が始まると、大量の木が必要になり全国各地の山がハゲ山になってしまいました。木は災害を防いでくれたので、木がなくなつたことにより大災害が起こりました。

戦後の山は何もなく町を復興するために沢山の木材が必要になりました。政府は植林を進め当時は植林ブームとなりました。人々は、色んな所に人工林を植え、今はまた緑豊かな山になったのです。

木だからこそある魅力

① 何十年たっても使える

木は周りが腐つたとしても削るとまた新しく使うことができます。お寺などは、使わなくなると、周りを削りまた使っているの、リサイクルになります。

② 木は災害を防いでいる

森林は、土砂災害などの災害を防いでくれます。木は芯が強いので根が土を支えてくれるのです。

③ 木の温かみ

皆さんの身の回りには、木を使った製品を沢山使っています。例えば床、鉛筆、スプーンなどです。木で作られているものには、温かく、軽くてつるつるです。木は何年も経つにつれ色もきれいな色が変わっていくのでそれを見ると心が温まります。

④ 木にも個性がある

木にも沢山の顔があり、節が沢山入っていたり、木の模様も全然違うものもあり個性豊かです。すごい大きな根っこもあります。

⑤ 家でもおすすめ

木は、すごくいい匂いがしツルツルしています。色んな模様があり、デザインがきれいなので色んな家具にできます。安心させてくれる匂いなので、家に置くとすごくいい！



木は使うべき？

守るべき？

私は、木は守るべきだともいいます。

なぜなら、今植林があまりされていなく、また昔のようにハゲ山になってしまいう可能性があるので。それに、ロシアとウクライナの戦争によりロシアからの木が来なくなり木が足りなくなりなっています。

違法伐採により木が足りなくなっているし、このまま使ってしまうと木が足りなくなり温暖化など被害をもたらすと思つたからです。しかし、今の森は木と木同士が密集して日光が当たらずに木が弱ってしまつています。なので間伐し、切った木が余っているのかもしれないので使つてもいいのかもしれないです。

違法伐採などをしないでもらうため呼びかけをしたり、でも間伐して余つた木を使えばいいと思います。

これからの日本は、木を使いつつ、でも一気に使すぎずに自然が豊かな日本になるようにしていったらいいと思います。そして私たちはみんなに木を好きになってもらえるよう、魅力をたくさんの人に伝えていきたいです。

違法伐採はやめよう！！

違法伐採とは、許可がされていないのに勝手に木を切ったりすることです。この違法伐採により色んな影響が起きています。

まず、木は二酸化炭素を吸い酸素を出してくれます。今問題になっているガソリンなどと一緒に出る二酸化炭素で温暖化が進んでいます。ですがこの木がなくなると空気が汚くなり地球温暖化が進んでいるのです。

他にも、切った木を勝手に売ったりする人もいます。そのため、苦勞して植えて育てきた人たちが損をします。安く売っているのだから安いからいいその木を買ってしまったら、違法伐採に協力してしまっていることもあるのです。ですが、今は日本の法律によりジャスマークがついたものを輸入しているので今はあまりありません。このような違法伐採により日本の森は荒れてきてしまっているのです。



木の現状を知り、未来に役立てよう！

日本の森林率は：約7割
実は昔、日本の山はハゲ山でした。明治時代は最も森林が荒れていたと言われています。そのため国が盛んに森を作り、守りました。しかし第2次世界大戦が始まると木材が必要になり、またハゲ山になってしまいました。戦後何もなくなった街を復興させるため木材が必要になり、
が
必要になり、
当時は植林ブームになりました。
今は植林ブームの時に植えた木が使い時。



木の魅力を知ろう！
一般に木は燃えやすいと思われているけれど、丸太など太い木材は、燃えて表面に炭化層という層ができ、内部へ酸素が入らなくなるので、燃えにくくなる。また、火災のとき鉄骨は高温で柔らかくなり、強度が低下してしまいますが、木材は柔らかくなることはないし、有毒ガスも発生しない。



森の働き
二酸化炭素を酸素に変えてくれて、緑のダムにもり、木材資源、野生動物のすみか、

日本の森林の問題
手入れする職人がいないから木が荒れ、丈夫な木が育たず、土砂で流れてしまう。
高度経済成長で生産業に就く人が減って林業が衰えた。
違法伐採をする人がいる。
けれど、今は違法伐採されているか
されていないか
検査についてJASマークが付いていれば大丈夫！



有機JASマーク



日本の森林の未来を考えてみよう。
今、何か対策を取らないと、職人が減ってしまう。良さを知らない人が増える。違法伐採が進むと違法伐採された木を間違って買ってしまおう人が出てくる。このまま植えなければどんどん使える木が減っていく。最終的に外国に完全に頼ることになる。だから私は今のうちに植えといた方がいいと思う。

木の歴史と魅力を探る！

〈日本の森の以外な歴史〉

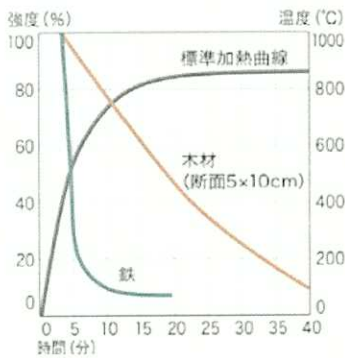
縄文時代に、木で弓を作ったりして、そのうちに法隆寺や東大寺を作るようになり、当時はむやみに森や林の樹木をきることが進んでいったため天皇や、国王などの君主が、土地の木を切ることを禁止した。明治時代は日本で過去最も森林が荒れ果てると言われていて、ハゲ山になっていた。そのため、政府はさかんに森や林を作り、守っていたけれど、第二次世界大戦が始まると、武器が必要になるから大量の木材が必要になり、日本が木不足になった。

〈違法伐採について〉

世界の森林の現状は、森林破壊が進んでいる。森林は、今も減少し続けている。森林破壊は、人口9も増加や、非伝統的な焼き畑農業、によって起こっている。また、安い木材を求めると、違法伐採に繋がる。違法伐採は、環境破壊、地球温暖化の進行、不正な貿易、ゲリラやテロ組織への資金供給などの問題を引き起こす。違法伐採が分かるように、ジェスマークをつけている。また、戦後や阪神淡路大震災などで違法木材をたくさん狩ったりしているから、今はあまり違法木材が輸入したものに紛れて買ってしまいう事は無い。

〈木は、鉄よりも火に強い〉

鉄は、燃えると、すぐに変形したりして、溶けてしまうけれど、木は、約40分たもつ事が出来る。(少しづつ燃えていく)だから、鉄と比べたら、木は崩れる少しの時間保つ事ができるから、木は鉄よりも火に強い事が分かる。木が少しづつ燃えて



いる間に、避難などが出来る事が分かる。

〈松野商さん達のお話を聞いて〉

ヒノキとスギは色がほとんど違う、木にふしがたくさんあると、折れたり、曲がったりしやすいふしが少なかったら、折れにくい、スギの葉っぱの先にすでに花粉が付いている、スギのかわは、剥がれやすく雨風に強い、くすの木を切る時、人間みたいに、保護しようとかかわきたいな物が木を守る、ヒノキは成長が遅く、スギは30〜50年になると、切つていかなければいけない、などたくさん初めて聞くことが本当に沢山ありました。スギ、ヒノキ、くすの木などの魅力をたくさん知る事が出来て、嬉しかったです。また、質問で、学校の机はどのように作られているのかがすごく気になっていたので、中塚さん達のお話を聞き、鉛筆削りや、ツラ剥きみたいに機械がぐるぐる巻いていて、重ねていく事で、学校の机のようになっている、とお聞きしたら、もっとワクワクしてきました。

〈木は使うべき？守るべき？〉

木は守ったり、使ったりした方がいいと思う。木を、一気に使ってしまうと、明治時代のハゲ山みたいになって木不足になり、困ってしまうし、環境破壊にも繋がるから、違法伐採や森林破壊などから木を守りつつ、でも、逆に使わなさすぎても木が無駄になってしまうから、少しづつ使っていっていいと思う。また、もし木が余ったりしても、木を捨てずに、形などを変えて、置き物、飾り物などにしても良いと思う。